

子どもに一つでも  
多くの本を



霜月(しもつき)  
芽生之



世田谷区立千歳台小学校 ホームページ  
<https://school.setagaya.ed.jp/chii/>

学校だより 第7号  
令和6年10月31日発行  
船橋希望学舎  
世田谷区立千歳台小学校  
校長 寺村 尚彦

## 地域とともに

紅葉のシーズンを間近にひかえ、校庭の桜の木々も、秋の装いに変わってきました。暑い夏もいつの時だったかと思うほどの冷え込みを感じます。

### 学校を地域で支える

世田谷区では学校教育の充実をめざして「学校を地域で支えるしくみ」という教育施策があります。これまでよく言われているのが「学校を地域へ開く」という考え方です。学校公開や地域人材の支援を受けることなどを通して、学校の理解を進めてきました。

このような考え方が大きく進んだきっかけが平成7年の阪神地区の大震災です。都市部の災害であったことと避難所の生活が、とてもリアルに伝わってきたことが記憶にあります。世田谷区は、様々な立場から復興の様子を視察してきたことを先輩の先生方から伺いました。この視察から出発したのが学校協議会です。避難所となっていた場所の多くは、公立の小中学校でした。避難所の運営が円滑であった理由のひとつに、学校と地域の関係性があったと聞いています。平成9年からスタートした学校協議会は地域の防災と健全育成が大きな柱でした。副校長になりたての20年前には、支所毎に「学校協議会フォーラム」を行い、地域の皆さんと一緒に、様々な取り組みをしていました。

## 校長 寺村 尚彦

その後、防災・防犯、健全育成、学校教育の充実となり、各学校や地域の特色を生かした活動をしてきています。平成17年からは「学校運営委員会」の制度が始まり、平成25年には全小中学校に学校運営委員会が設置されました。

### 学校関係者評価

学校関係者評価も、同様に20年ほど前から始まっています。当初は「外部評価」と称していました。保護者や地域の皆さんは「外部」の人ではなく、学校に関わりのある大事な人たちであるという認識から「学校関係者」という名称になりました。評価項目も区全体共通項目と学校独自項目があります。共通項目は、世田谷区立学校としての取り組みに関して、独自項目は各校の教育目標や重点項目に関して、それぞれの理解度を見取るようにしています。そして結果を基にして次年度の方向性などを考えていきます。項目数もそれなりにあり、お手間を取らせませんが、評価アンケートにご理解とご協力をいただけることをお願いいたします。

今年度は学芸会の年です。16日(土)が保護者鑑賞日です。各学年の演目や配役なども決まり、本格的に練習が始まります。当日はぜひ足をお運びいただき、子ども達へ万雷の拍手をお送りいただきますようお願いいたします。

## —お知らせ—

### ○体育時の服装について

体育の授業では、原則半袖ハーフパンツの体操着を着用しています。しかし、気温に応じて長袖衣類(トレーナー)や長ズボンの着用もできます。子どもたちの安全を守るため、以下のきまりを学校で統一しています。ご家庭でもご確認の上、準備をお願いします。また、トレーナーには必ず記名をしてください。体操着の中に着る長袖Tシャツ、タイツやレギンスなどは、体温調節が簡単にできないので、着用を不可としております。長ズボンの丈の長さ、太さにご注意ください。

#### 【身に付けてよいもの】

(上) 授業中、簡単に脱ぎ着できるトレーナー (下) 膝下までのソックス

#### 【身に付けてはいけないもの】

(上) ボタン・チャック・フード・ひものついている服、ネックウォーマー、手袋、長袖Tシャツ  
(下) タイツ、レギンス、ニーハイソックス、丈が長すぎるズボン、太すぎるズボン